



《 児童のみなさんへ 》 今泉小学校

がつ きゅうしょくもくひょう
1月の給食目標
きゅうしょく あとかたづ

今泉小食育標語「食べ物と 作った愛情 いただきます」

給食の後片付けをきちんとしよう



あたらしい年を迎えました。ぜひいい年にしたいですね。1年間を健康で
げんきに過ごすための目標をそれぞれ立ててみましょう。1月には全国学校
給食週間があります。学校給食の歴史をふり返し、その意義や役割を
あらためて考える1週間です。



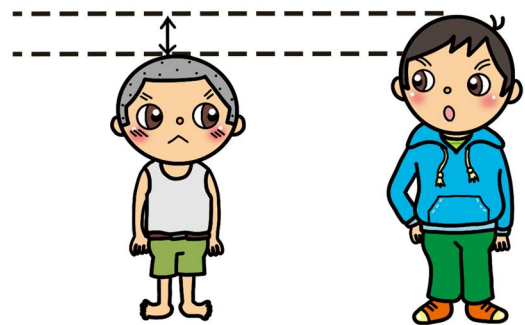
ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん
全国学校給食週間



しょうわ ねん せんそう お
昭和20(1945)年、戦争が終わったばかりの日本では食料
が不足し、栄養不足の子どもたちがたくさんいました。
給食も戦争で中断されたままでした。



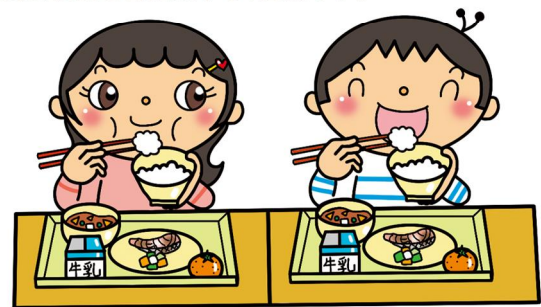
そのころの小学6年生の体は、今の小学4年生くらいの大き
さだったといえます。



この日本の様子を見て、外国から食べ物の援助がたくさん送ら
れてきました。こうして昭和21(1946)年12月24日、学校給食が
ふたたび始まりました。



12月24日は学校が冬休みなので、1ヵ月遅らせた1月24日
から「全国学校給食週間」が行われます。給食に感謝し、そ
の意義と役割を再確認する1週間です。



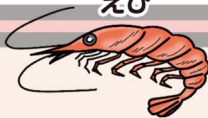
いずみがおかちいきがっこうえん は っ か げつ か きん がっこうきゅうしょくしゅうかん ちさんちしょうこんだて
泉が丘地域学校園でも、20日(月)～24日(金)が学校給食週間となります。地産地消献立や、
いずみがおかちゅうがっこう きゅうしょくいんかい おにい おねえ かんが こんだて ていきょう とちぎけん ゆた のうさんぶつ
泉が丘中学校の給食委員会の、お兄さんお姉さんが考えた献立を提供します。栃木県の豊かな農産物
を味わいましょう。



あけましておめでとうございます。本年も、子どもたちにとって安心安全な給食の提供を、教職員・給食調理員とともに協力して取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学校給食では、栃木県の郷土料理や地域の特産物を中心に、様々な地域や諸外国の食文化にも触れ合う機会を設けています。お正月はまさに、日本文化を体験する良い機会です。ご家庭で、おせち料理の意味や七草がゆの由来などを話してみてもはいかがでしょうか。




たい  「めでたい」にかけて食べられる縁起のよい魚。	えび  長いひげが伸び、「腰が曲がるまで長生きできますよう」と願う。	昆布巻き  「昆布」が「よろこぶ」に通じ、1年楽しく暮らせるように願う。
田作り・ごまめ  昔、干したいわしを田の肥料にしたことから豊作を願う。	たたきごぼう  豊作になる年に現れるという、めでたい鳥(黒いつる)に似せて、豊作を願う。	黒豆  「まめ(元気)に暮らせるように」と願う。黒は魔よけの色とされる。
かすのこ・さといも  「子宝に恵まれ、家が栄えるよう」と願う。	くりきんとん  富を願う金色のきんとんにめでたい「勝ちぐり」をあしらう。	だて巻き  昔の書物(巻本)に似ているので学業成就を願う。






健学社「食育フォーラム」より



毎年1月7日、一年の最初の節句である「人日の節句」に七草がゆを食べるのは、七草の若芽を食べて植物がもつ生命力を取り入れ、無病息災でいられるようにという願いが込められています。